

一般乗合旅客自動車運送事業(区域運行)計画

住 所 長野県北安曇郡白馬村大字北城2587-1
名 称 有限会社 JHNTラベル
代表者名 モラード ケビン ジョン

1. 事業の概要

本事業は、白馬村全域、小谷村一部における観光移動需要に対応するため、あらかじめ定めた営業区域内において、区域運行型の一般乗合旅客自動車運送事業を実施するものである。

運行開始予定日:2026年12月～

2. 運行形態の特徴

本運行は、路線を定めず、利用者の予約に基づき運行する乗降地点自由型(フルデマンド型・ドア・トゥ・ドア型)の運行形態とする。

固定ダイヤ・固定経路は設定しない、利用者の予約内容に応じて柔軟に運行し、これにより既存公共交通では対応が難しい地域、既存路線の無い地域および宿泊施設利用者の深夜移動需要にも対応する。

3. 区域運行事業申請に係る検討の経緯

3-1. 背景:深刻なタクシー不足と二次交通の課題

白馬エリア(白馬村・小谷村)は世界有数のウィンターリゾートとして国際的な知名度が高まっており、特にオーストラリアを中心とした訪日外国人観光客が急増しています。実際に2024年の外国人観光客数は前年比77%増を記録しており、エリア内の移動需要は爆発的に増加しており現在、白馬村においてもタクシーの増便、Uber Taxiおよび日本版ライドシェアの参入、AIオンデマンド交通(ふれAI号、白馬ナイトデマンドタクシー)、HAKUBA VALLEY シャトルバス事業など、様々な交通施策が講じられていますが、課題の解消には至っていません。

特に冬季(12月中旬～3月上旬)の交通インフラは、需要に対して完全に円滑な移動を提供するという観点においては「繁忙期・特定時間帯における供給不足」という状態であります。

資料(末尾ウェブサイトご参照)に基づいた具体的な現状は以下の通りです。

- ・特定時間帯のタクシー枯渇: 夜間(16:00～24:00)および朝のチェックアウト時間帯(6:00～11:00)はタクシーを捕まえるのが難しい状況。
- ・既存デマンド交通の限界: 既存の「白馬ナイトデマンドタクシー」等の実績では、特に17時～20時、22時～23時のピークタイムに配車リクエストが集中し、希望通りの時間に予約が取れない「配車不成立」が多数発生しています。
- ・白馬駅前の混雑: 村の玄関口であるJR白馬駅前には、特急到着時などに送迎車や路上駐車で激しく混雑し、既存の路線バスの円滑な運行を妨げる要因となっています。
- ・二次交通の空白地帯: 飯森駅などの無人駅周辺では、スキー場への案内はあるものの、駅から目的地宿やゲレンデ)までの二次交通が整備されているとは言えない。(タクシー利用が必須)
- ・自治体境界を跨ぐ移動: 白馬駅から小谷村(柵池・乗鞍・コルチナ地区)へ跨ぐ移動ニーズが高い一方で、既存の公共交通は自治体単位の運用が主であり、広域的かつ柔軟な移動手段が不足しています。

4. 営業区域

主にJR白馬駅を発着地、白馬村から小谷村にまたがる各ゾーン(A～E)区域で旅客が指定する乗降地点間

乗降地点は特定せず、利用者の予約内容に応じて決定する。

5. 申請区域(ゾーンA～E)の交通事情と選定理由 (別紙 営業区域図面参照)。

運行区域は、JR白馬駅を拠点としつつ、無制限に広域な区域設定は行わず、既存の交通機関では網羅しきれないニーズを補完するものです。

・ゾーンA・B(北城・神城地区): 生活と観光の混在エリア

生活と観光の混在エリア JR白馬駅周辺(北城)は村の玄関口であり、商業・公共施設が集中していますが、駅前広場は送迎車や路上駐車で混雑し、円滑な移動を妨げています。また、飯森駅(神城地区)などは、スキー場への案内はあるものの二次交通が整備されていないため、駅から目的地へのスムーズな移動手段の確保が急務です。

・ゾーンC(どんぐり・岩岳地区): 宿泊施設の分散

宿泊施設の分散 この地区は別荘地や宿泊施設が点在していますが、デマンド交通「ふれAI号」の利用データでは、エコーランド等の別荘地と商業施設を結ぶ移動が非常に多く、既存サービスの定員・車両数だけでは補いきれない需要が存在します。

・ゾーンD・E(落倉・小谷村・乗鞍・コルチナ地区): 境界を越えた移動ニーズ

境界を越えた移動ニーズ この区域は、HAKUBA VALLEYとして一体的なスキーエリアを形成しています。既存のデマンド交通や村営バスは自治体の境界に縛られることが多く、「区域を越えた移動」を望む利用者の声に十分応えられていません。シャトルバスの運行時間外における、白馬駅から小谷村内各スキー場への直接的なアクセス手段の確保はインバウンド客の滞在満足度向上に不可欠

6. 運賃

- A 白馬村北城(平川～松川の間) 1250円
- B 白馬村神城(飯田・飯森地区) 1500円
- C 白馬村どんぐり・岩岳地区 1500円
- D 白馬村落倉地区 小谷村・乗鞍高原スキー場付近 2000円
- E 小谷村 白馬乗鞍・コルチナススキー場付近 2500円

7. 運行時間帯

運行時間帯: 24時間体制ですが、宿のチェックイン・チェックアウトに伴う運行時間は以下を想定:

利馬駅行は 午前7時から午前10時半
白馬駅発は 午後1時～深夜 2時

7. 運行方法: 事前予約制、予約状況に応じて運行

7-1

予約受付体制

オンライン予約から利用する日、利用する便、利用人数など予約内容を確認し、乗務員へ伝える。

予約はオンライン予約のみとする。

予約開始日: 6月1日から予約可能～各便発車時刻の前々日前までに予約する。

固定的な時刻表による反復運行は行わない。

7-2乗降方法・制限(宿泊施設⇄白馬駅)

宿迎え

宿にて名前確認乗車・下車は白馬駅

宿送り

白馬駅にて名前・行き先確認後出発

8. 既存公共交通との関係

本事業は、特定の高需要区間や時間帯のみを反復的に運行するものではなく、地域全体の特に冬季の観光需要に対応し移動利便性向上に資するものであり、既存の一般路線バス事業を補完することを目的とする。

既存のシャトルバスはスキー場間の大量輸送を担っていますが、夕方以降や早朝の運行が限られています。これらの空白時間帯および空白区間を埋めることで、地域交通ネットワーク全体の利便性を向上させることを目的とする。

9. 公共性・必要性

JR白馬駅を軸とした予約制の区域運行事業に参入し、地域におけるタクシー不足および深夜帯の交通手段欠如に対する改善策。観光客の移動需要を充足し、円滑な移動を確保すること。地域内移動手段の補完。地域公共交通との組み合わせによる利便性向上、交通混雑の緩和を図り、地域公共交通体系の維持・活性化に寄与、観光移動の円滑化の構築を目指すものです。

本事業は以上の通りでございます。
本事業は、地域公共交通会議における協議内容を踏まえ、必要に応じて運行方法等の見直しを行うなど、地域関係者との連携のもとで実施したい所存でございます。

参照した資料:

白馬村地域公共交通計画(素案) R6.12

<https://www.vill.hakuba.lg.jp/material/files/group/7/2024122603.pdf>

Hakuba Valley Bus 運営サイト

<https://www.hakubavalley.com/access/shuttlebus/>

白馬デマンドタクシーふれAI号について

<https://www.vill.hakuba.lg.jp/material/files/group/7/2026130.pdf>

<https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/gyoseijoho/mizikanachiikikotsu/hakubademanndo/10001.html>

アルピコ交通 白馬駅～拇池高原線

<https://www.alpico.co.jp/traffic/local/hakuba/tsugaike/>

小谷村村営バス

<https://www.vill.otari.nagano.jp/www/contents/1584504509688/index.html>

現地のスタッフの声

<https://www.hakuba-highland.net/news/1600/>

白馬観光局プレスリリース: 24-25冬季シーズンは前年比114%の約130万人が来訪

https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000057.000060409.html?utm_source=chatgpt.com

令和7年度 第1回白馬村地域公共交通検討委員会

<https://www.vill.hakuba.lg.jp/material/files/group/7/2025925-1.pdf>